

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ソースかつ井フェスティバル&ファンミーティング in 駒ヶ根
事業主体 (連絡先)	駒ヶ根商工会議所 (駒ヶ根市上穂栄町3-1 TEL 0265-82-4168)
事業区分	産業振興、雇用拡大
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,692,280円 (うち支援金: 1,605,000円)

事業内容

- 開催日時 平成30年10月27日(土)~28日(日)
- 会場 駒ヶ根高原 光前寺駐車場
- 参加かつ井産地 駒ヶ根・伊那・桐生・前橋・会津若松・秩父
- 来場者数 10月27日~3,000人 28日~3,000人 計6,000人
- 来場者の地域的な内訳:市内約38%、上伊那約26%、その他の県内23%、
県外13%
- イベント内容 ソースかつ井の展示販売
ファンによるトークセッション
かつ井屋の親父座談会
上伊那の物産販売
上伊那の観光資源としての「食」の可能性を探るためのアンケート調査



【イベント実施状況】

【目標・ねらい】

- ①ソースかつ井の消費拡大
- ②地域の交流人口の増加
- ③上伊那の食のポテンシャルについてのモニタリング実施

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- イベントを通じてかつ井産地の連携強化が図れ、もソースかつ井の文化を更に広め、産地の認知度を上げ、各地域が「食」による地域振興を図っていくきっかけとすることができた。
- イベントを通じて市民及び観光客のソースかつ井の消費額を15%増加させるのを目的としたが、イベントの前後では地元かつ井店の売り上げは50%以上伸びている。
- 食の情報発信により交流人口を増加させる事については、広告宣伝の他に各種メディアに取り上げられており、会議所・観光協会への問い合わせ件数は増加している。
- 観光資源としての上伊那地域の「食」のポテンシャルについてのアンケート結果からは、売れ筋の方向性が見えてきた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回連携した6産地が更に連携を強め、その他の地域とも連携を広めてソースかつ井の知名度を更に高めていくための取り組みを広域連携して取り組んでいく。

また、上伊那の物産を観光に活用する取り組みを本格的に開始していく。

※自己評価【 B 】

【理由】

財政的に見込み違いが生じたが、予想の2倍の来訪者があり、運営も周辺に迷惑を掛けることなく順調に終えることが出来、来訪者、関係者からも高い評価をいただき、ソースかつ井のポテンシャルを確認できた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある